

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名:新潟県

農業委員会名:津南町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 2020年7月29日

任期満了年月日 2023年7月28日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	18	18
認定農業者	—	11
認定農業者に準ずる者	—	4
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	6	6	6

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,506
農業経営体数	1,068

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	3,862
女性	1,915
40代以下	1,071

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	231
基本構想水準到達者	180
認定新規就農者	3
農業参入法人	33
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,920	1,100				3,020

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	3,020 ha	2,044 ha	67.7 %
課題	集積は進みつつあるが、更なる集積をしていくには基盤整備等の対策が必要。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	6 年度	集積率	90.0 %
今年度の新規集積面積	220 ha	農地面積(C)	3,020 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	2,270 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	75.2 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	0.68 ha	0.25 ha	0.42 ha
課題	耕作者の高齢化や所有者が県外在住により、耕作や保安全管理ができなくなり遊休農地が増加することが懸念される。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.25 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.05 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.42 ha
--------------------------	---------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	町ではほ場整備推進に向け、アンケートの実施や定期的な会議を行っているため、町の農政部局と遊休農地の解消に向けて連携する。
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.06 ha
---------------------------	---------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	元年度新規参入者		2年度新規参入者		3年度新規参入者	
	0	経営体	0	経営体	0	経営体
	0	ha	0	ha	0	ha
課題	個人農家が法人化し、地域の担い手となっているが、条件の良い土地がほとんどない。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	202 ha	133 ha	108 ha	148 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			14.8 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	7 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	18 人
		農地利用最適化推進委員の人数	6 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	5 回	
取組時期	取組項目	強化月間の内容
11~12月	①農地の集積	法人化が進んでいるため、新規法人等に情報提供を行い、集積・集約を働きかける。また、冬期間外は農地の見回りをを行い、冬期間は地域の会合等で情報収集を行う
8~10月	②遊休農地の解消	農地パトロール(利用状況調査)後に、再度遊休農地を確認するとともに、利用意向調査の実施と、必要に応じて非農地判断、非農地通知を発出する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回		
開催時期	令和4年度	相談会名	新規就農チャレンジフェア
参加者数	1	開催場所	新潟市
相談会の内容	新潟県新規就農相談センターが実施する「新規就農チャレンジフェア」等に参加する		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)